

区立学校におけるICT推進に関する取組について

区では、これまで、区立学校において、子どもたちが自ら考え疑問をもち、主体的に課題解決しようとしたり、多様な考え方を共有したりしながら、学ぶ力を身に付けることが大切であることを踏まえたICT推進に取り組んでまいりました。具体的には、児童生徒1人1台専用タブレット端末の配布及び、学習支援ソフトやデジタル教材の効果的な活用による個別学習や協働学習などの充実を図ることで、子どもの学びを支えてきております。

これらを踏まえ、ICT推進にかかる令和5年度に実施した主な取組及び、令和6年度に実施予定の主な取組について、以下のとおり報告いたします。

1 令和5年度の主な取組実績

(1) ハード面（ICT機器類の整備等）

① インターネット接続環境の整備

・デジタル戦略アドバイザーの提言の下、全校のインターネット接続回線の設定を変更（PPPoE→IpoE）し、通信速度を向上（理論上1.5倍）。

② LTE通信（USIM）に対応したタブレットへの更新

・児童生徒用タブレットのLTE通信（USIM）対応モデル更新完了。

③ 区立学校の情報ネットワークシステムの更新

・文部科学省の教育情報セキュリティポリシーガイドライン（R4.3改訂）に合わせた、ゼロトラストモデルの新学校情報ネットワークの委託事業者をプロポーザルで選定し（NTT東日本）基本設計を完了。

(2) ソフト面（学習支援ソフト及びデジタル教材の活用等）

① 教職員向けICT研修の実施

・ICT推進リーダー連絡会、学習支援ソフト等の活用に向けた訪問型要請研修

② デジタル教科書実証事業の実施

・文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」

③ 新たなオンライン学習システムの活用

・文部科学省開発「MEXCBT」を活用した各種調査の実施

④ 仮想空間を活用した不登校児童生徒への支援に関する実証事業の実施

・東京都教育委員会提供「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」の研究と試行

2 令和6年度の主な取組予定

(1) ハード面（ICT 機器類の整備等）

- ① 児童生徒用タブレットの更新
 - ・令和2年度に導入した児童生徒用タブレット約22,000台のうち12,000台を更新（リース契約）。
- ② 区立学校情報ネットワークシステムの更新推進
 - ・令和7年度9月に運用を開始する新学校情報ネットワークの詳細設計及び仮稼働環境の構築作業を受託事業者（プロポーザル選定：NTT 東日本）と推進。
- ③ 区立学校のインターネット回線の強化とアセスメントの実施
 - ・令和6年9月以降、順次、インターネット回線を現在の1Gbps回線から10Gbps回線に更新。併せて、6月と12月の2回に分けて、ネットワークアセスメントを実施し、回線強化の結果を検証。

(2) ソフト面（学習支援ソフト及びデジタル教材の活用等）

- ① 教職員向け ICT 研修の実施
 - ・ICT活用リーダー連絡会、学習支援ソフト等の活用に向けた訪問型要請研修、ICT活用研修の実施
- ② デジタル教科書実証事業の実施
 - ・文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」
 - ・杉並区における学習者用デジタル教科書の導入教科検討
- ③ 学校における帳票の電子化及び適切な管理
 - ・指導要録の電子保存化の実施
- ④ 仮想空間を活用した不登校児童・生徒への支援に関する実証事業の実施
 - ・東京都教育委員会提供「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」実証事業の実施
 - ・実証事業終了後を見越した実施体制の検討